

令和5年度 第1回学校関係者評価委員会 報告書

認定こども園かいけ心正こども園

園長 山口 明美

○評価日 令和5年6月30日（金）10:30～11:30

○場 所 認定こども園かいけ心正こども園 会議室

○出席委員

学校関係者評価委員	所 属
◎A委員	米子市立小学校 校長
B委員	米子市立公民館 館長
C委員	保育園 園長
D委員	主任児童委員
E委員	保護者会 副会長

◎委員長

○園からの説明

- (1) 令和5年度 教育推進の重点と実践について・・・別紙参照①
- (2) 令和5年度 年間評価計画について
- (3) その他・・・本園の子育て支援事業について

○園からの説明に対して、学校関係者評価委員の皆様からの意見

【E委員】

- ・SDGsの里山再生活動では、興味ある家庭の親子が多数参加しており、家の中で会話が弾むきっかけとなっている。また、子どもたちが園で経験したことを、家の中でたくさん話してくれるので、園の様子が分かり、いい園に入ったと思っている。

【D委員】

- ・園の活動内容について参考にさせてもらっている。
- ・自園は、0、1、2歳児が通園しているので、子どもからなかなか日頃の様子や保育について発信できない。今までコロナ禍で見えなかった分、園側が保護者に発信する情報はとても大事である。
- ・職員不足は、どこの園でも同じ悩みである。行政は、子育て世代のお母さん方を休ませてあげることには積極的だが、保育士はなかなか休めない。保育士が余裕を持って対応するためにも、園の管理者は職場環境をよくするよう努力する必要がある。

【C委員】

- ・特別支援の加配職員について、今後独自のアンケートを取り、保育教育現場の実情を知り、行政に働きかけたいと思っている。

【B 委員】

- 園で、たくさんの取り組みをしていると感じる。
- 職員の健康保持のために、健康施設などの法人組織会員になり、健康面のサポートも考えられる。

【A 委員】

- 子育て不安の保護者サポートとして子育て支援スーパーバイザーの役割は、とても大切である。いずれ小学校教育にもつながっていく。
- 小学校でも、職員不足は深刻であるが、教育の質は落とせない。
- 働き方改革として、行事の見直しも小学校でも行っている。保護者アンケートをもとに、行事（学習発表会）を平日開催にするところから始めている。

上記のようなご意見を頂きましたので、本年度の園運営や保育に活かしていきたいと考えております。

以上